

第12分科会 社会生活を営む中で精神障害を発症した方が 障害者雇用を受容するまで

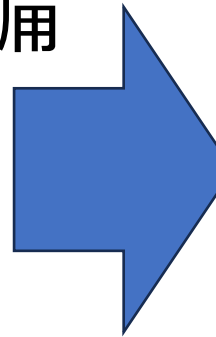
- 真喜志 未夢（就労移行支援事業所 ラ・レコルト茨木
サービス管理責任者）



はじめに『障害受容の重要性』

長期就労を目指す為には・・・

- ①障害の受容
- ②職場環境の選定や整備
- ③配慮事項の整理
- ④業務対応力の見極め



もっとも
大きな課題は

障害受容支援

必要不可欠！！

はじめに『障害の背景と受容度』

障害の背景や受容度は個人差がある

受容



周りの支援を受けて生活
配慮を得て働く



障害を受容できず
社会との関わりを
遮断してきた方も・・・

就労移行(定着)支援事業所 ラ・レコルト

○2016年～2018年にかけて
ラ・レコルト伏見・枚方・茨木 開設

利用者様が進みたい道がゴール

障害の種別・軽重に関わらず支援

開設当初から

就労 ではなく

定着 が目標



事例の紹介

Aさん：40代後半 男性

発症 腹痛から不安感UP⇒パニック障害

現状 約20年間 引きこもり状態
就労希望あり 難関資格を取得
母親がレコルトへ相談⇒利用へ

就労経験 客室清掃 軽作業等
約3年半経験あり



利用開始当初の障害受容・就労への思い

症状が出る事を恐れて在宅生活が長期化。
主治医との出会い、服薬治療により状態安定。

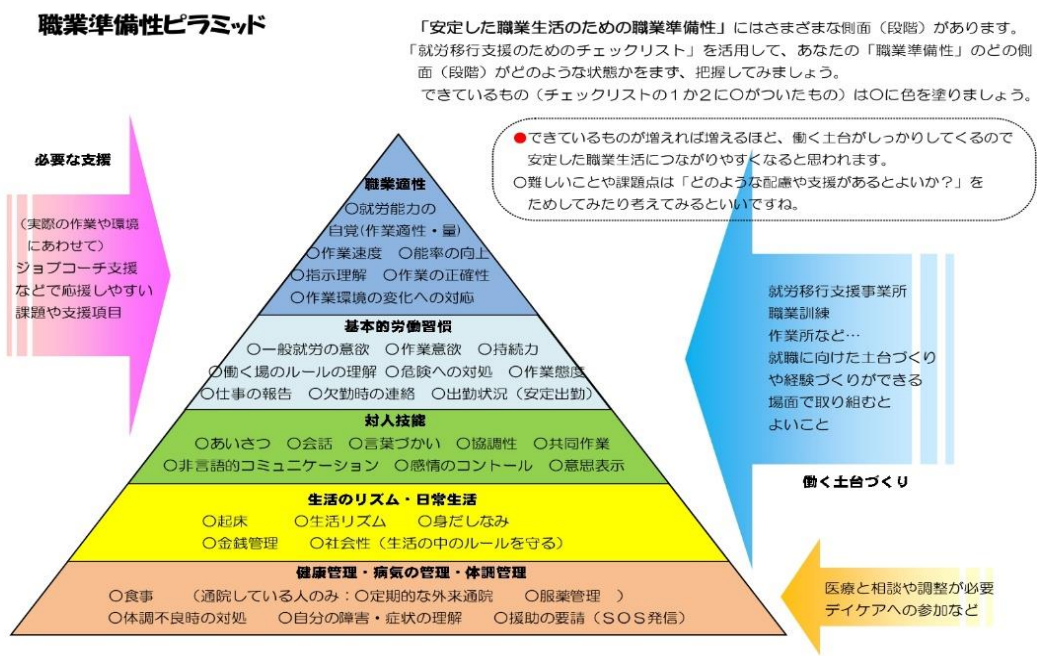
症状がでるか分からないが
クローズで正社員として働きたい
難関資格を活かして仕事をしたい



個別支援計画『健康管理・生活のリズム』

「職業準備性ピラミッド」に基づいて作成。
通所での負荷を考えて、主治医へ事前確認。

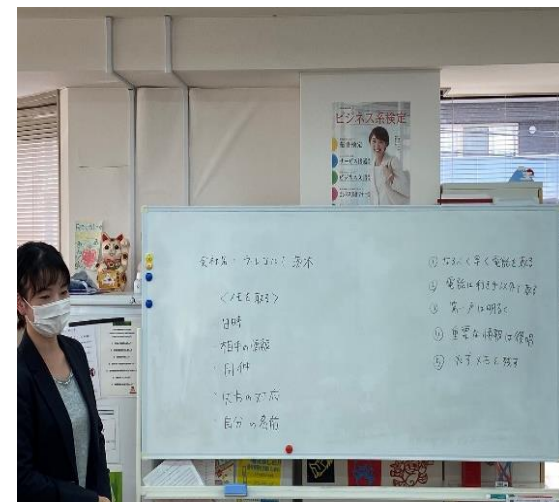
半年で週5日
終日通所を
達成できた!!



個別支援計画『対人技能・基本的労働習慣』

○資格取得学習
○グループワーク
○ビジネスマナー

○作業プログラム
○SST
○報連相訓練



個別支援計画『職業適性～自己理解～』

- 『自己理解シート』で配慮事項整理
- 可能性を広げるため、様々な実習先へ



課題受け入れが難しかった事も
実習では **振り返り→受容** が
行えるようになる



個別支援計画『職業適性の課題』

『就労能力(作業適性・量・現状)』の自覚が
課題として残った。

「クローズで正社員採用！
難関資格を活かした仕事」
諦めたくない！！



就職活動スタート

主治医に相談の上
希望条件による就職活動を
スタートするも・・・



ブランク・・・年齢・・・経験値・・・
書類選考すら通らない・・・
希望条件をかえてもダメだ





就職活動の思いに変化



利用期間が迫ってきた…
残り期間が半年になっても
決まらなければ…
職種を変更しよう！！



職種を変更したいと思える
ステキな企業とご縁が…

作業系の非常勤採用へ





就職後の支援

長期就労のためには
支援機関との連携が必要



将来的に定着支援を卒業し
自立を目指したい！！



移行定着⇒定着支援へ
ご本人＋企業の意向にあわせて
個別面談をメインに



現在の状況

時短勤務(1年間)⇒フルタイム勤務へ

(個別面談にて…)

業務や対人関係の対処法を
教えてほしい



⇒約1年半以上の就労継続へ



ナチュラルサポートへ
移行！！！！

考察資料

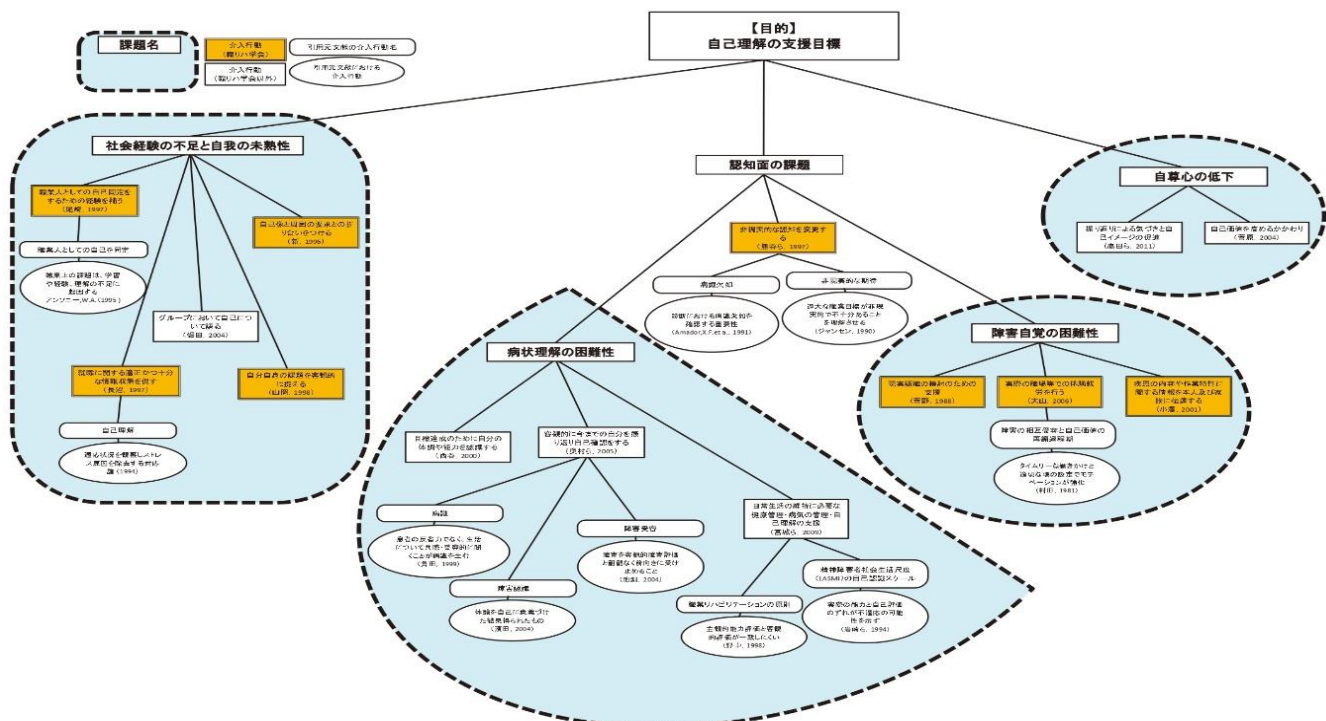


図3 精神障害者への自己理解の支援目標に関する内容マップ

障害者職業総合センター資料シリーズNo.91『精神障害者に対する「自己理解の支援」における介入行動に関する基礎調査』をもとに考察

考察『社会経験の不足と自我の未熟性』

自己像と周囲の要求との折り合い

実習にてつける事が出来た



就職活動が難航...

**自分自身の課題
(経験不足・ブランク等)**

客観的にとらえる事が出来た



考察『障害自覚・病識理解の困難性』

**客観的障害評価と齟齬なく
前向きに受け止めること**

実習・就職活動の中で行えた

各支援者が全力で支援

ご本人も全力で就職活動

⇒ **自ら異業種への目標変更を決意できた**



まとめ『長期就労に向けた支援』

○ **自己理解⇒障害受容** が重要
⇒支援者の技量も必要になる

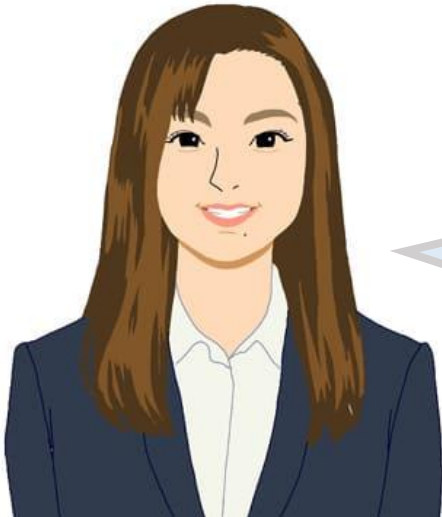
○ひとりひとりの人生に関わる
重要な支援であるが



現状は **定着** よりも **就労者数** に
力を入れてしまわざるを得ない傾向にある

最後に・・・

ラ・レコルトでは障害の受容に重きをおき
今後もご本人主体の支援を第一に
就労定着を目指していきたい。



ご清聴ありがとうございました